

主催者

太平洋総合コンサルタント株式会社

環境調査・地質調査・設計・測量等を行う建設総合コンサルタント
http://www.taicon.co.jp/

取組み
概要

現地体験型の環境教育の実施(河川の水質や生物について生徒各自が現地で体験しながら学ぶ)



取組み
の
ねらい

1. みんなの湿原への関係を高める
2. 湿原と人との関わりの歴史と今を知る
3. 自然再生の仕組みや動きを広める
4. 自然再生について情報公開と合意形成を進める
5. 自然再生に地域・市民の参加を促す
6. 自然再生への幅広い支援・協力を求める
7. 湿原と継続的に関わる学びの機会をつくる
8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す
9. 湿原を訪れる人へのサービスを改善する
10. 人・施設・地域のネットワークをつくる

独自の
ねらい

身近にある川を知り、触れ合い、遊びながら、その大切さを学んで欲しい

実施の
様子

日時: 10月15日～11月1日のうち6日間(授業時間 2時間×6日間)
場所: 釧路川(常盤橋付近)および標茶高校敷地内(牛舎)
参加者数: 高校1年生(約25名×3クラス=約75名)
1クラスにつき、以下の水質調査、水生生物調査を各2時間実施

【水質調査】

- ・釧路川と牛舎糞尿の2つの水質をパックテスト等で調査(pH・COD等の6項目)
- (パックテスト: 試薬の入った透明チューブに対象の水を入れると濃度により色が変化)
- ・生徒各自がパックテストで濃度を調べ、グラフを作成
- ・2つの水質をグラフにより比較し、その違い等を説明
- ・農業が河川へ与える影響、環境にやさしい生活スタイル等について説明

【水生生物調査】

- ・釧路川の生物をタモアミ等で採集し、その特徴、生態、生息環境等を学ぶ
- ・生徒各自が胴付き、ライフジャケットを着用し、生物を採集した(水深50cm前後)
- ・生物は水槽に移し、各自で特徴等を観察しスケッチ
- ・採集生物: ヤマメ・アメマス・ウグイ・トミヨ・スナヤツメ・フクドジョウ・ウチダザリガニ等
- 採集した生物は、観察後に全て放流



水質調査



生物調査

主催者
の感想

取組みのねらいについて

取組みの「ねらい」は概ね達成できたと思うが、わかりやすい授業とするにはまだまだ改善が必要である。今後も、一方的な説明ではなく、生徒から多くの質問が出るような授業を目指したい。標茶高校での体験型授業は今年で5年目(毎年10月に実施)を迎えるが、野外にて体験しながら、自然を学ぶことは貴重な経験になると思う。これからの世代を担う高校生にとって、この授業が身近な自然へ興味を持つ“きっかけ”になってくれればうれしい。

